消費者と提携し地域農業を守る

下郷農協



2026
11・12
No.750

今年も丹精込めて育てました（健康米生産組合）

強化へ」農村ＲＭＯ学習会を開催

10月5日、耶馬渓コミュニティセンターで「下郷の夢！委員会」主催の「下郷の夢！の実現に向けて、みんなで学ぼう農村ＲＭＯ」が、地域住民や行政関係者・生産者や消費者約２００名（リモート約80名含む）の参加で開催されました。

今回の学習会は、下郷を豊かな地域に再生していくため発足した「下郷の夢！委員会」（下郷農協・耶馬渓酪農組合・グリーンコープ）が主催、農村ＲＭＯ※（農村型地域運営組織）を管轄する農水省農村振興局の地域振興課長を講師に「中山間地域における農村ＲＭＯの形成に向けて」と題して、農村ＲＭＯについて詳しく学習しました。

中山間地域の人口分布は国全体の１割に過ぎませんが、農業産出額と耕地面積はそれぞれ４割を占めるなど、農業・農村の中で重要な役割を果たしています。

ただ人口の減少も顕著になっており、下郷の地域を見ても農協以外の商店はほぼ無くなり、ガソリンスタンドも閉店するなど、地域のインフラが失われていっており、今後に更なる人口減少が訪れると考えた場合、集落を維持していくことが困難になると予測されます。

具体的には、人口が減少し集落機能が失われてくると、「資源管理機能（農地・景観などの維持管理）」「生産補完機能（草刈りや道普請等）」「生活扶助機能（冠婚葬祭等）」が困難となり、農地・共同施設の荒廃化・農業経営の縮小や離農・生活の困難化などが起こります。

そうならないため地域の人々が中心となって形成された、地域内の様々な関係主体が参加する協同組織が定めた地域経営の方針に基づき、地域課題解決に向けた取組を持続的に実践する組織として地域運営組織（ＲＭＯ）が必要となります。

農村型地域運営組織（農村ＲＭＯ）の活動は、①立ち上げ期（農村ＲＭＯに向けた体制づくり：有志による話し合い、地域課題の把握）、②形成期（将来ビジョンの策定、農地用保全、地域資源活用、生活支援に関する調査、計画策定、実証事業等）、③定着期（体制の安定化により攻めの取組にチャレンジ、課題に対応するための事業の多角化、参画者の多角化）のプロセスを辿るとの

「地域コミュニティ機能の維持・

ことで、「下郷の夢！委員会」は①の立ち上げ期と②の形成期を同時に進めていると言えます。

学習会に参加した下郷の夢！委員会のメンバーは、「委員会で検討されている内容と、農村ＲＭＯの考え方が非常に近いものだと改めて確認できた。下郷の夢！委員会は、下郷を豊かな地に再生していくため農業・産業を振興するとともに、観光の振興や福祉の充実などを目指しているので、農村ＲＭＯの事業が活用できれば行政機関とも連携し取り組んでいきたい」と話していました。

※ＲＭＯ：Region Management Organization の略

（参事・立花）



会場いっぱいに集まった地域住民や行政関係者・生産者や消費者ら

「心ひとつに　夢をかたちに」
第67回 下郷農協まつり

11月８日㈰10：00～14：30、下郷農協本所・購買前駐車場で下郷農協まつりを開催します。

※詳しくはまつりチラシをご覧ください。
下郷農協まつり実行委員会
（事務局・管理部　☎0979-56-2222）



収穫期直前の生育状況を確認

健康米組合が2回目の圃場巡り

9月8日（火）、健康米生産組合（吉原和泉組合長・組合員11名2法人）の令和8年度2回目の健康米圃場めぐりが、生産者9名・大分県北部振興局2名の参加で行われました。

今年は前年以上の干ばつで7月初旬の梅雨の大雨以降8月末まで雨が降らず、耶馬渓ダムの貯水率も過去最低の16%を切る厳しい天候が続きました。

そのため、一部地域では散水車で田んぼに水を運ぶなど、多くの生産者が水不足で苦労されていました。

また、水不足の影響で生育遅れ、分げつ不足、不稔もみ、枯れ等が散見され、品質や収穫量への影響が懸念されています。

同行された北部振興局からは、収穫期までの水管理や適期刈取の留意点について説明を受けたほか、「過去に例がない厳しい水不足にもかかわらずここまで生育できているのは農家の努力以外ありません」とありがたい評価をいただきました。

年々厳しさを増す気候状況ですが、工夫しながら安心安全で美味しいお米を消費者へお届けいたします。

（指導販売部　鷹崎）



水不足による生育の影響を確認する生産者ら

「酷暑や水不足に負けず米生産」

米の受入検査がスタート

10月８日、下郷倉庫で今年一回目の令和８年産米の品位格付検査が行われ、受検米のほとんどが整粒60%を超える上位等級米となりました。

今回の受検米（農協買入米）は前年度の全集荷数量を大幅に上回る1,290袋／30kg玄米個で、昨今の需要動向や価格変動の影響により生産者の組合組織である下郷農協が買入の受け皿となった形です。



一回目検査で昨年の全集荷量を超えるお米を取り扱う担当職員ら

今年産米は特に酷暑による高温障害や梅雨明け以降の水不足など大変厳しい栽培環境でしたが、高温障害に強い品種への作付け移行や肥培・水管理の徹底で品質や収量の向上に各生産者が努めていただきました。

「最上位等級に届かなかった検体は、酷暑等の影響とみられる心白粒や水不足による充実不足などが一部に散見されたが、消費者に美味しいお米を安定的に届けられるよう、引き続き生産組合と一緒に生産強化を図りたい」と担当者は話していました。

鳥獣被害軽減で農地保全に期待

前鶏肉処理場が新たにジビエ処理施設で開場

8月21日、下郷農協が昨年度売却した鶏肉処理場（耶馬渓町大島178）が新たにジビエ処理施設に改装・完成し、開場式が行われました。

開場式では関係者が参列し神事～オープンセレモニーが行われ、農協から玉麻組合長と立花が参加しました。

この施設は有限会社サンセイ（宇佐市大字下高）が運営する「中津G-BASE」と名付けられています。

同社は宇佐市内にもジビエ処理施設を運営しており、昨年の実績はシカ・イノシシ合わせ2、800頭の処理を行っています。

今回オープンした施設と合わせると年間5、500頭の処理頭数が予定されており、国内最大規模の処理施設になります。

中津市管内も年間で数千頭の駆除がされているようですが、大半は廃棄になっているとの事でした。

この施設が完成したことにより、駆除されたシカ・イノシシが有効に利用でき、猟師の収入増につながり、農地が保全され、農産物への被害が減るようになれば、とても良いことだと思います。

今後は農協でもジビエ肉の取扱いが出来ないか検討を進める予定で、鳥獣被害に悩まされている中山間地域の農業者に農地保全で貢献できるよう連携を図りたいと考えています。

（参事・立花）



ジビエ処理施設「中津G-BASE」がオープン

指導販売部の鷹崎職員が優良賞

ＪＡ産地振興・担い手実践事例報告会

「令和８年度ＪＡグループ大分ＪＡ産地振興・担い手実践事例報告会」がこのほど大分市で開催され、下郷農協の指導販売部 鷹崎剛主任が優良賞を受賞しました。

報告会は営農指導員等が優良事例を共有し地域農業の持続的発展に役立てることを目的に、ＪＡ大分中央会・ＪＡ全農おおいた・ＪＡグループ大分営農指導員連盟が開いたもので、県内の営農指導員ら50人が参加しました。



九条ネギの圃場を開放した産地交流（収穫体験）の取り組みを発表する鷹崎主任

鷹崎主任は「有機的農業へのこだわりと持続可能な農業を模索して」のテーマで九条ネギの生産状況や消費者交流の取り組みなどについて報告、「依然として、九条ネギの生産量を増やしていくには厳しい状況（組合員の減少、昨今の異常気象、等）ですが、一人でも多くの消費者へ届けられるよう、これからも生産者・農協が協力して取り組んでいきます」と実践事例を発表しました。

これからも組合員・消費者の負託に応え営農指導をがんばってもらいたいと思います。



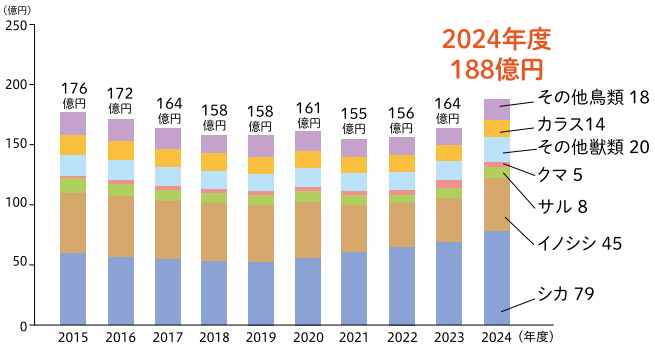
農業との共生を探る

ジビエの流儀

近年、シカやイノシシなどの野生鳥獣による被害が大きな問題になっています。
地域の農業や暮らしを守るために捕獲された命を無駄にせず、
食肉として活用する「ジビエ」が注目されています。

監修：一般社団法人日本ジビエ振興協会　代表理事　藤木徳彦
取材協力：白神マタギ舎（青森県西目屋村）
イラスト：ゆきたけし

全国の野生鳥獣による農作物被害額の推移



※数値は四捨五入のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

被害をもたらす主な動物



シカ
栄養状態の良い雌（めす）が、毎年1頭の子を産みます。樹皮の他、果物や野菜なども食べます。



イノシシ
行動範囲は狭く、人家近くの里山に生息。芋類、トウモロコシなど、何でも食べます。



ツキノワグマ
果樹や稲などの農作物を食い荒らす他、人里への出没が増え、人身被害も深刻です。

10年で被害額が増えた動物（2015年→2024年）

- アライグマ　3億4400万円 ▶ 6億9300万円
- ヒヨドリ　4億7100万円 ▶ 8億600万円
- クマ　3億円 ▶ 5億1900万円　（参考：7億3800万円／2023年）

出典：農林水産省「全国の野生鳥獣による農作物被害状況」

野生鳥獣による被害が拡大

里山を守るために、今考えたいこと

かつての日本では「マタギ」と呼ばれる狩猟者が、自然と共生しながら必要な分だけ野生鳥獣を捕獲し、その命をいただくことで、里山の生態系バランスが一定程度保たれてきました。

しかし現在、耕作放棄地の増加や里山の荒廃、マタギの減少などにより、人と野生動物の生息域の境界があいまいになり、両者が接近、遭遇することが増えています。

野菜や果樹などが食い荒らされる被害が発生し、農家が大切に育てた農作物が一晩で失われてしまうことも珍しくありません。また、市街地にクマが出没し、人身被害も発生しています。

野生鳥獣による被害を減らし、人が自然と共生できる環境を取り戻すためには、柵などによる侵入防止や緩衝帯の整備など生息環境の管理に加え、捕獲による野生鳥獣の適切な管理が重要とされています。

近年は、鳥獣害対策の強化により被害額は減少傾向にありました。しかし、対策が追い付かず被害額は再び増加しています。そのため、今後はさらなる対策の強化が求められています。

山と共に生きるマタギ

現役のマタギ・工藤茂樹さん（青森県西目屋村）

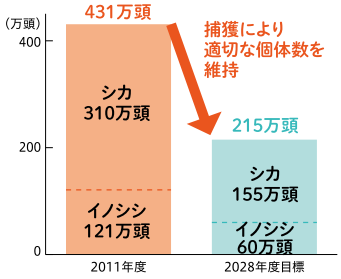
私たちマタギは単なるハンターではありません。一年を通じて得られる山の恵みを「山の神様からの授かりもの」として感謝し、仲間と分け合ってきました。獲物は肉だけでなく、毛皮や内臓、脂まで余すことなく利用します。山を汚さず、山菜やキノコも取り尽くさないなど、自然と共生する知恵を受け継いでいます。

近年は山で狩りを行うマタギが減り、クマなど野生鳥獣たちが人を怖い存在だと認識しなくなったこと、農家の減少などで野生鳥獣が田畑に近づきやすくなったことが被害増加の大きな原因だと考えています。そのため、危害を与える恐れのある野生鳥獣を捕獲し、個体数を適切に保った上で、人と野生鳥獣が互いに生きられる環境づくりに取り組むことが大切です。

命への敬意を忘れず、自然と向き合う。それがマタギの精神です。この考え方は、これからの鳥獣被害対策を考える上でも、忘れてはならない視点だと感じています。

鳥獣被害を減らすために個体数を適切に管理

急速に個体数が増えたシカやイノシシについて、国は捕獲を強化しています。



出典：農林水産省「野生鳥獣被害防止マニュアル」

捨てるから生かすへ

ますます広がるジビエの活用

野生鳥獣の捕獲が強化され、2020年度のシカ・イノシシ・クマの捕獲数は136万頭余り（※）に上りました。

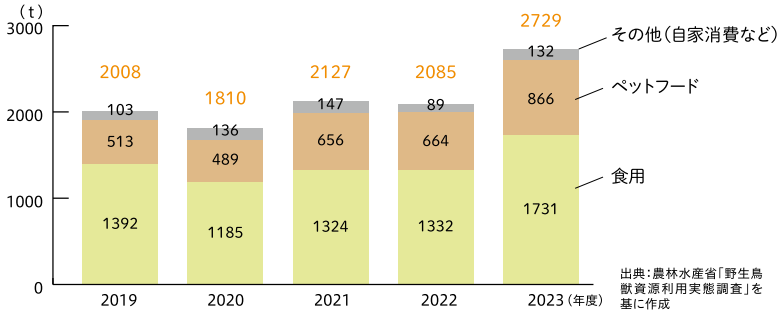
かつては、その多くが埋設・焼却処分などで廃棄されていました。しかし今、シカやイノシシを中心に、捕獲した野生鳥獣の命を無駄にせず、ジビエとして活用する取り組みが全国各地で広がってきています。

この取り組みは、山と共に生き、命への敬意を忘れない「マタギの精神」にも通じています。

ジビエは単なる鳥獣被害対策のみにとどまらず、山の恵みを地域資源として活用し、人と自然、そして農業との共生を考えるヒントとしても注目されているのです。

※環境省「狩猟及び許可捕獲等による主な鳥獣の捕獲数」より

ジビエ利用量



出典：農林水産省「野生鳥獣資源利用実態調査」を基に作成

ジビエの魅力とは？

（1）健康的な体づくりに役立つ

牛や豚に比べて高タンパクかつ低脂質で、鉄分やビタミンBなど幅広い世代にうれしい栄養素が豊富です。

（2）ペットの貴重なタンパク源にも

ジビエは、低脂質で栄養価が高いため、ペットの健康を守るペットフードの原料としても広まっています。

（3）食を通じて地域振興に

鳥獣被害軽減や特産品作りなど、地域の活性化にもつながります。

「国産ジビエ認証」とは安全・安心なジビエの証し

衛生管理などの基準を満たした食肉処理加工施設を認証するのが「国産ジビエ認証制度」です。2026年4月現在、認証を受けた施設は全国に43カ所あり、安全・安心で確かな品質のジビエ提供につながっています。

国産ジビエ認証

専門家に聞きました！

ジビエのおいしさを広め、クマも地域の資源に！

――ジビエと家畜肉との違いは何ですか？

野生動物は自然の中で育っています。そのため、一年中同じ品質で供給される家畜とは異なり、季節や年齢、性別、食べている餌などによって肉質や風味が大きく変わるのが特徴です。まさに自然の恵みを味わう食材だといえるでしょう。

また、野菜や魚と同じように、ジビエも旬を楽しめます。シカは山菜や新芽をたくさん食べる春から初夏にうま味が増し、イノシシは脂が乗る秋から冬も魅力的ですね。

――ジビエを食べる際の注意点を教えてください。

現在では、飲食店でジビエを食べることがほとんどかと思いますが、家庭で調理する場合は、唐揚げやハンバーグ、カレーなど、食べ慣れている料理に使うと、普段食べている肉との違いが分かって楽しいですよ。

なお、体内に細菌・ウイルス・寄生虫を保有している可能性が高いため、生で食べることは絶対に避けてください。厚生労働省では中心部を75度で1分以上、またはそれと同等の十分な加熱を推奨しています。

――今後のジビエの展望について教えてください。

牛肉の等級のような、誰もが分かりやすく、品質やおいしさを評価できる基準を整えていき、ジビエをより広く普及させたいですね。

各地で被害が深刻化しているクマも、おいしく安全に食べられるメニューの開発に挑戦し、新たなジビエの可能性を広げていきたいと考えています。



クマ肉の活用例。ボワレ（蒸し焼き）



一般社団法人日本ジビエ振興協会
代表理事
藤木徳彦さん

ジビエ料理を提供する
「オーベルジュ・エスポワール」
（長野県茅野市）のオーナーシェフ。

特殊詐欺



＃みんとめ

詐欺被害を防ぐため、今すぐインストール！

ニセ警察詐欺※1や、SNS型投資詐欺※2をはじめとした特殊詐欺は、誰もが標的となります。
被害を防ぐため、警察庁が推奨する「特殊詐欺対策アプリ」の導入を強くお勧めします！
アプリの導入で、あなたの大切な財産を守りましょう。

- **●無料で利用できます**
- **●犯行に利用された電話番号からの電話を遮断（警告表示）できます**
- **●最新の防犯情報を受け取ることができます**

※1 ニセ警察詐欺　どんな手口？

○警察官、検察官などの捜査機関をかたる
○携帯電話や預貯金口座等の不正利用を理由として、「あなたに犯罪の嫌疑がある」などと言ってくる
○「捜査名目（優先調査をする、逮捕されたくなければ…）」として金銭等を要求する

・あなたの口座が犯罪に使われている
・あなた名義で携帯電話が不正に契約されている



※2 SNS型投資詐欺　どんな手口？

○SNS等を通じて、やりとりを重ねて関係を深めて信用させた後にお金をだまし取る手口
○投資すれば利益が得られると誤信させ、投資アプリなどに誘導する
○架空の投資を継続させながら、投資金名目や出金手数料名目で金銭等をだまし取る

・「あなただけ」「必ず儲かる」
・ＳＮＳで投資話を持ちかけた後に、ＬＩＮＥに誘導



↑このほかにも、様々な詐欺の手口があります！特殊詐欺対策アプリで、
⚠犯人と話をしない　⚠犯人から電話がかかってこないようにする　対策を！

大分県警察本部「安心安全まちづくり推進室通信」より引用

管理部

人事異動

【退職】

8月31日付で安田隆生さん（牛乳加工部）、10月31日付で筌口謙吾さん（共済部）が一身上の都合により退職しました。

【採用】

10月1日付で玉麻健太郎さん（耶馬渓町金吉）を採用し同日付で牛乳加工部に、10月19日付で内惠美葵子さん（玖珠郡九重町）を採用し同日付で共済部に配属しました。

職員募集について

事業拡大等に伴い新規職員（パート職員含む）を募集中です。新規プレーンヨーグルト製造でスタッフ（時間パート含む）若干名、既存工場業務で若干名、本所（企画部）事務職で1名を募集します。

＊給与・賞与、昇給：農協給与表・支給基準による
＊その他：勤務時間・休暇・待遇・応募資格等についてはお問合せください。詳細を改めてご連絡いたします。

（管理部　☎56-2222）

店舗閉鎖のお知らせ

お客様へ

平素より当店をご愛顧いただき、心より感謝申し上げます。突然のお知らせとなりますが、当店は２０２６年８月をもって閉鎖する運びとなりました。

《今日までの経緯》

２０２４年３月に従業員の体調不良により同年４月にいったん閉鎖となりましたが、地域のインフラであるガソリンスタンドが無くなることは下郷地区の産業衰退に重大な影響が想定されることから、中島信男さんを中心とした有志のメンバーで末廣社長のご厚意（設備の無償提供・事務処理等のサポート支援）により、僅か１カ月後の５月には再開することができました。

再開後は不慣れな私たちでありましたが、地域の皆様の温かいご支援のもと今日まで約２年間無事営業することができました。

本来であれば、地域の皆様にはいつまでもご利用いただきたいと願っておりましたが、今年２月の米国・イスラエルによるイラン軍事作戦によりホルムズ海峡が封鎖される事態となり、３月には原油供給が停止するという大変な状況に直面し臨時休業を余儀なくされました。

その間、お客様から多くの再開希望の声をいただき、再開を模索しながら現オーナーとも話し合いを重ねてまいりましたが、当スタンドの買い取り価格が折り合わず、残念ながら閉店に至る結果となりました。

どんな状況でも当店を支えてくださった皆様には、心から感謝申し上げます。

閉店後も地域の皆様と共に過ごした楽しい思い出は、私たちにとってかけがえのない宝物です。これからも地域の発展を心から応援しております。

最後になりますが、皆様の温かいご支援に感謝しつつ、今後の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

本当にありがとうございました。

２０２６年10月８日
下郷振興会（丸八末広石油店）
店主　吉原　準一



再開を断念し閉店となった「丸八末広石油店」

指導販売部

廃ビニール・廃農薬回収について

令和８年度の廃ビニール・廃農薬回収は11月末～12月上旬に行います。日時が確定しましたら購買ふれあいの店に掲示しお知らせいたします。

回収できる農業ごみの種類が決まっていますので、ごみの廃棄を下郷農協に依頼する方は必ずルールを守って持込みをお願いいたします。

回収が可能かどうか判断のつかない場合は、下郷農協指導販売部・鷹崎（☎56-2630）までご連絡ください。

令和８年産米の買入価格について

令和８年産健康米および慣行栽培米の農協買入価格が決定しました。種類・品種・等級別の買入価格については、別途配布（掲示）の価格表をご覧ください。

味噌委託加工受付について

農産工場での味噌委託加工受付休止に伴い、味噌加工希望の方は次の通り受入先をご案内します。

・受 入 先：耶馬渓郷みそ工房
（大字金吉1034番地１）
下郷製茶工場隣り
・受付期間：11月１日～３月末まで
・受付時間：午前９時
～午前10時30分まで
（年末年始除く平日・土日祝日）

㊟不在の場合がありますので、お持ち込みの際は予めご連絡をよろしくお願いします。
＊加工料や原料など詳細のお問合せは耶馬渓郷みそ工房
（☎0979-56-3310）まで





下郷診療所

2026年11～12月の診療日について（お知らせ）

1，担当医師

＊**火曜日・木曜日の診察：**酒見（さけみ）久哲先生（診療科目：内科・小児科・外科）

〈下郷診療所の管理者として津民診療所より診療に来て頂いています。〉

2，診療時間

＊火・木曜日：8：30～（受付）、診療：9：00～12：00、13：00～17：00

＊変更等の場合は、診療所および購買ふれあいの店にお知らせを掲示します。

〈2026年11月の診療日〉

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1日	2日 休診	3日 休診	4日 休診	5日 酒見先生	6日 休診	7日 休診
8日	9日 休診	10日 酒見先生	11日 休診	12日 酒見先生	13日 休診	14日 休診
15日	16日 休診	17日 酒見先生	18日 休診	19日 酒見先生	20日 休診	21日 休診
22日	23日 休診	24日 酒見先生	25日 休診	26日 酒見先生	27日 休診	28日 休診
29日	30日 休診					

〈2026年12月の診療日〉

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1日 酒見先生	2日 休診	3日 酒見先生	4日 休診	5日 休診
6日	7日 休診	8日 酒見先生	9日 休診	10日 酒見先生	11日 休診	12日 休診
13日	14日 休診	15日 酒見先生	16日 休診	17日 酒見先生	18日 休診	19日 休診
20日	21日 休診	22日 酒見先生	23日 休診	24日 酒見先生	25日 休診	26日 休診
27日	28日 休診	29日 休診	30日 休診	31日 休診		

電子的診療情報連携体制整備加算について

当院は、より質の高い診療を行うためオンライン資格認証による情報（受診歴、薬剤情報、特定健診情報、その他必要な診療情報）を取得して活用しています。

マイナンバーカードをご持参ください。下郷診療所は診療情報を取得・活用することにより質の高い医療の提供に努めています。

下郷診療所　☎56-2361

インフルエンザ予防接種について

（2027年3月31日まで）

【接種料金】



65歳以上：1,000円

65歳未満：4,000円

6ヵ月～13歳未満：（1回目）4,000円

（2回目）3,300円

13歳以上～高校生相当：4,000円

＊高校生相当まで**助成金**：2,000円ずつ
（お支払時に助成額が差引かれます）

＊必ず予約をされてください。詳しくは受付まで。

新型コロナワクチン料金：5,000円
対象者：65歳以上、60～64歳身障手帳１級相当

下郷診療所　☎56-2361

ふれあいの店

「営業日等について」

11月8日（日）購買ふれあいの店は、購買前駐車場での第67回下郷農協まつり開催に伴い、**営業時間を10時～14時30分の間として祭特価の商品を取り揃え特別営業**します。

㊟当日は特別営業により全商品ポイント付与対象外となります。

また、前日の11月7日（土）は祭会場の設営に伴い、来店者用の購買前駐車場が使用できません。大変ご迷惑をおかけしますが、旧道沿いの農協本所前駐車場をご利用ください。

「プレミアム商品券」

10月1日（木）～2027年1月3日（日）使用期間の「中津市プレミアム商品券」（**紙券・電子券ともに**）は、取扱登録を行っている購買ふれあいの店（生産資材含む）でご利用いただけます。

「特注・チルド肉受付中」

食肉業務の外部委託に伴い生肉から冷凍肉の取り扱いに変更しましたが、一部生肉対応もできます。詳しくは店舗内設置の「特注・チルド肉」注文受付案内板をご覧ください。

☆年末年始の営業のご案内☆

月・日（曜日） 部門等	12月29日 火	12月30日 水	12月31日 木	1月1日 金	1月2日 土	1月3日 日	1月4日 月	1月5日 火
ふれあいの店	大売出し 8:30~18:00	大売出し 8:30~18:00	大売出し 8:30~12:00	休業	休業	休業	休業	10:00~開店 (~18:00)
野菜受取	一部のみ受取	一部のみ受取	なし	なし	なし	なし	一部のみ受取	一部のみ受取
下郷診療所	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診	診療

《お問合せ先》
購買ふれあいの店（直通）：0979-56-2225、指導販売部（野菜受付等）：0979-56-2630、下郷診療所：0979-56-2361
企画部お客様センター：0979-56-2888、下郷農協本所（0979-56-2222）は一部業務を除き12/31～1/4まで休業

下郷農協の新役員体制について

先の通常総会および理事会・監事会での役員改選（任期：3年）に伴う新役員体制をお知らせします。

《理事》定数9名

・玉麻 農夫男　代表理事組合長
・行岡 良治　代表理事専務
・越尾 喜久男　常務理事
・田尻 嘉郎　理事
・石川 貴美子　理事
・鷹崎 晴美　理事
・中島 信男　理事（新任）
・吉原 準一　理事（新任）
・金崎 亮一　理事（新任）（大分市）

《監事》定数3名

・末国 勲男　代表監事
・藤谷 安治　監事（新任）
・岡本 英男　員外監事

組合員の皆さまへお知らせ

～組合員資格の確認について～

いつも下郷農協をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
組合員の皆さまに組合員資格について組合加入当時よりご変更がないか、ご確認をお願いいたします。

１．氏名・住所の変更のあった方

２．正組合員から准組合員への資格変更
□農業を辞められた方　□１年のうち90日以上農業に従事しなくなった方
□農業経営を辞められた法人

３．准組合員から正組合員への資格変更
□農業を始められた方　□１年のうち90日以上農業に従事する方　□農業経営を始められた法人
□上記の農業者で中津市に住所を有する方（※1）

４．その他の変更
□相続による名義変更が必要な方
□農業を辞めた方で農用地利用集積計画にもとづき利用権を設定し、農用地利用改善事業実施団体の構成員となっている方

上記に該当する組合員の方はお手数ですが、ご本人確認のできる書類（運転免許証・マイナンバーカード等）および印鑑、出資証券（旧）をお持ちになり下郷農協（管理部）でお手続きをお願い申し上げます。
なお、予めご連絡いただけると幸いです。

2026年11月

◯組合員資格につきましては、当農協定款第12条に基づきます。
（※1）2024年６月、この組合の地区は「中津市耶馬渓町」から「中津市」に定款変更したため、耶馬渓町外で中津市内の農業者も変更申請の手続きにより正組合員となる事ができます。

＜お問い合わせ先＞　下郷農業協同組合（管理部・矢﨑）　TEL：０９７９－５６－２２２２

理事会だより

2026年8月26日に第5回定例理事会、9月29日に第6回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

【第５回定例理事会 提出議案】
①活動報告承認の件
②第78回通常総会の総括について
③預託家畜業務規程の一部変更について
④その他の報告事項

【第６回定例理事会 提出議案】
①活動報告承認の件
②農協部門組織の機構変更について
③取引のリスク評価書の改正について
④その他の報告事項

第5回定例理事会の第78回通常総会の総括について、「全議案満場一致で承認された画期的な総会」「道が切り拓かれた転機の総会」とする総括案を付議・承認を受けました。

その他の報告事項について、7月29日の定例理事会終了後に行われた監事会で、末国勲男監事を代表監事に選任したことが報告されました。

第6回定例理事会の農協部門組織の機構変更について、2027年度本格稼働予定のヨーグルト製造施設の建設等に伴い、2026年10月より①牛乳加工部➡牛乳加工部「牛乳工場」・「乳加工品工場（旧惣菜工場）」、②農産・惣菜加工部「惣菜工場」➡牛乳加工部「乳加工品工場」へ移管、③農産・惣菜加工部「農産工場」➡指導販売部「農産工場」へ管轄を移管することが承認されました。

その他の報告事項では、10月28日・29日開催の一斉集落常会での配布提案資料について付議・承認を受けました。

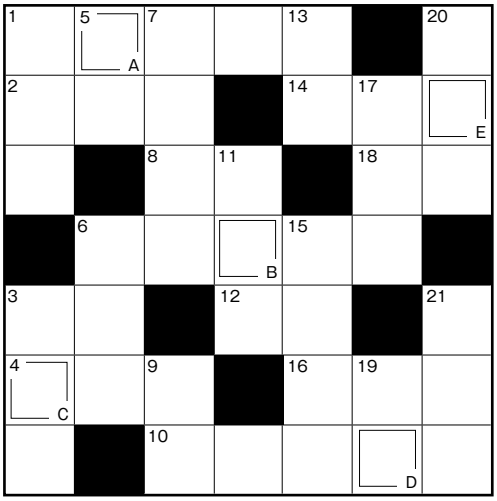
また、中津市の国保診療所再編（統廃合）計画および下郷診療所の医師派遣（中止）計画に係る情報共有や、休業中の下郷農協特約店・丸八末広石油店について、「再開を模索してきたが残念ながら閉店に至る結果となった」旨の状況が報告されました。

パズル？ 頭の体操

出題●ニコリ

Q 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？





タテのカギ

1 ルイス・キャロルの名著「――の国のアリス」
3 イースター島の巨大石像
5 冬至の日、湯船に浮かべます
6 日の丸やユニオンジャック
7 8の――は、1、2、4、8
9 大きなものは瀑布と呼ばれます
11 日本では右の人が多い
13 食パンのふちの部分
15 吊るし切りにする魚
17 EU加盟国のひとつ。首都はベルリン
19 こんもりと盛り上がった土地
20 クリスマス――に星の飾りをつけた
21 参道の入口に立っています

ヨコのカギ

1 年末年始の学校に行かない期間
2 風呂場の天井からポタリ
3 博多で本場の――鍋を食べた
4 なまはげ行事で知られる県
6 西高東低の高が示すもの
8 田畑を耕す道具
10 クリスマスのミサがおこなわれる場所
12 困ったときに仰ぎ見る
14 赤・白・――はクリスマスらしい色の取り合わせ
16 寒いと池に張ることも
18 ディーとエフのあいだ

先月号のこたえ

1 イ	5 ワ	8 シ E	グ	12 モ		17 オ
	6 イ	モ		13 モ	15 シ	ヤ
2 ジ	ン		11 ド	イ	ツ B	ゴ
ユ		9 ア	ク A	ロ		コ
3 ウ	7 ワ C	バ	ミ		16 フ	ロ
4 ゴ	イ	シ		14 ラ	ン	
ヤ		10 リ	ズ	ム D	カ	ン

先月号のこたえ「クツワムシ」

数独（すうどく）

出題●ニコリ

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ？

7	8				3			
6						9		
			1	5			7	
		1	3					2
		3				5		
9					7	6		
	3			9	8			
		2						6
			4				2	8

《数独のルール》
①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
②タテ列（9列）、ヨコ列（9列）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つ）のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

解答は次号で

先月号のこたえ





9	4	5	2	1	7	8	6	3
6	2	1	3	4	8	5	7	9
8	3	7	6	9	5	1	2	4
3	8	2	4	5	1	7	9	⑥
5	1	4	7	6	9	2	3	8
⑦	6	9	8	2	3	4	1	5
1	7	3	9	8	4	6	5	2
4	5	6	1	3	2	9	8	7
2	9	8	5	7	6	3	4	1

答え 6+7=13

［考え方］

タテ列やヨコ列、3×3マスの各ブロックで、同じ数字が重複しないように数字を入れていくパズルです。計算は不要ですよ。例題で解き方を覚えましょう。右下のブロックには、まだ2が入っていないので、4つある空きマスのどれかが2になるはず。同じタテ列やヨコ列に2がない空きマスは、6のすぐ右のマスしかないので、2の入る場所はここだと決められます。このように、確実に数字が決められる場所を、注意深く根気強く探していきましょう。

例題

	7	2	9		5	8		6
	1			3			4	
4	9				1	3		
		7	8		9	2		5
	2			5			7	
6		3	7		4	1		
		1	4				5	3
	3			1			6	
5		4	3		2	9	8	

［例題の答え］

3	7	2	9	4	5	8	1	6
8	1	6	2	3	7	5	4	9
4	9	5	6	8	1	3	2	7
1	4	7	8	6	9	2	3	5
9	2	8	1	5	3	6	7	4
6	5	3	7	2	4	1	9	8
2	8	1	4	9	6	7	5	3
7	3	9	5	1	8	4	6	2
5	6	4	3	7	2	9	8	1

●発行／下郷農業協同組合　〒871-0431
大分県中津市耶馬溪町大字大島２１５－４
TEL 0979-56-2222　FAX 0979-56-3117
https://shop.simogonokyou.or.jp／バックナンバー掲載中